

第 13 回海域小委員会における委員意見及び対応（案）

No.	小委資料	委員意見	対応（案）
1	資料 4-3 (潮流・潮汐)	(桐委員) 「潮流・潮汐」のうち、潮流の変化の資料がない。今後示されるという理解でよいか。潮流については、平成 18 年当時に比べてシミュレーション技術が進歩しており、こうしたデータの補強をお願いしたい。	近年のデータも盛り込み、今回の資料を作成した。
2	資料 4-1 (汚濁負荷)	(樽谷委員) 今回の資料では有明海の汚濁負荷について整理されているが、今後、八代海について加わるとの認識でよいか。	今回提示の資料において、八代海のデータを記載した。
3	全資料	(樽谷委員) 年号と西暦が混在しているので、報告書内で統一された方がよい。	対応を検討する。
4	資料 4-5 (底質環境)	(橋本委員) 図 1 の底質はコンターを見ればよいのか、数値を見ればよいのか。 (滝川委員長) 中央粒径と泥分率が重なり見にくくなっている、図を分けられたほうがよい。表題についても、図の中身がすぐわかるほうが良い。	ご指摘の部分が分かる図に変更した。
5	資料 4 全体	(滝川委員長) それぞれの図表や文章が完成版であるか、途中成果であるか明確に記載していただきたい。	今後、資料が作成途中である場合、その旨が分かるように資料を記載する。
6	資料 4 全体	(滝川委員長) 海域再生小委の分担分だけの資料となっているので、全体がわかりにくい。生物小委分も含めて提示していただきたい。	今回、海域再生小委と生物小委を合同開催することとした。

No.	第13回 小委資料	委員意見	対応（案）
7	資料 7-4 (Y4 海域)	（小松委員） P.3 ベントスの減少について、主要種の推移の「経年的には大きな変化はみられない」という記述は、図を見ると確かにそのとおりであるが、この記載では読み手が安心してしまう。「ここ10年は」と入れる等、時間スケールを入れていただきたい。	前段に「2005年以降の調査結果を確認した」と記載している。ご指摘を踏まえ、このことが分かりやすく伝わるように記載を工夫した。
8	資料 6 全体	（東委員） ベントスの減少や底質粒径の推移について、第3章の水質と同じように一目で海域別の変化・特徴がわかるように整理できないか。	対応を検討する。
9	資料 8-2 (要因解析)	（小松委員） 要因・条件を変えたときに成層がどう変わるかという計算結果を提示していただきたい。 途中のどのプロセスが貧酸素水塊の容積変動に寄与しているか、モデルの計算結果から考察していただきたい。	ご指摘を踏まえ、追加記載した。
10	資料 8-1 (再生への取 り組み)	（滝川委員長） 委員会報告第3章、第4章から第5章「再生への取り組み」にうまくつながるように前章からの流れをもう少し図も交えながら記述していただきたい。4つのケーススタディの結果が再生にどう結びついていくのか。再生のストーリーに配慮していただきたい。	ご指摘を踏まえ、記載を加筆・修正した。